

広報あち

令和6年 1月
2024.1 No.251

謹賀新年

〜希望の年にも〜

P 2 特集① 若者に魅力ある地域にするには

- P 4 年頭のごあいさつ
- P 6 熊谷元一写真コンクール
- P 9 12月議会定例会 村長あいさつ
- P 13 阿智高だより
- P 14 特集② 教育委員会の窓
- P 16 2024年度阿智村海外語学研修事業
- P 17 あちっぴらザ
- P 18 阿智村の自慢 ～保育園～
- P 19 阿智村の自慢 ～学校～
- P 20 戸籍の窓/屋神温泉今昔物語

ははきぎ
〜園原「箒木」〜

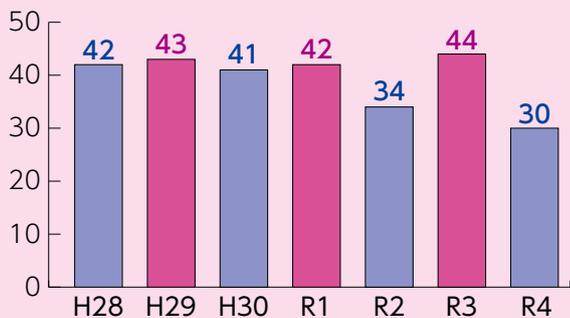
今年の大河ドラマは源氏物語の作者 紫式部の生涯を描く「光る君へ」。源氏物語に登場するははきぎ木や園原が大河ドラマに取り上げるのを期待して、村内では様々なプロジェクトが動いています。



園原のほんやり作り 地域の担い手に欠かせない行事

魅力ある するには？

阿智村の出生数（年度）



令和6年を迎えました。全国的に少子化が叫ばれ、この阿智村においても出生数は令和4年度には30名、令和5年度も12月末現在で19名と厳しい状況が続いています。コロナ禍において故郷にUターンする若者の傾向の兆しがあるものの、将来の不安などによりこの状況は依然として続いています。特集では阿智村としてこれからの進む方向性、特に若者の意見や考えている事を紹介してみたいと思います。

今年辰年の、年男年女を迎える阿智在住の若者の皆さんに、なぜ地元に戻ってきたか？同世代の若者に帰ってきてもらうには？これからのどんな政策を望むか？など自由に語ってもらいました。

人口6,000人を長期的に維持するには
20〜30代の皆さんから考えを聞きました

■36歳男性（春日）

関東で社会人となって、数年後に将来の事や実家の事が不安になり、故郷に戻ってきました。離れてみて改めて阿智村や南信州の暮らしやすさを感じました。Uターンするきっかけを特に三十代の若者にしてみらう事で、他力本願ですがありがたいと思います。地元が頑張っている姿や情報を得る事で、自分自身への励み、転機となる事は間違いないです。若い頃は確かに都会に憧れますが、二十代、四十代で帰って来たい人も多いと思います。

■24歳女性（智里東）

私は次女でしたが地元に戻ってくるのが「使命感」だと感じて学生生活を過ごしてきました。小さい頃から自然の中で育ち、親にスキーなど連れて行ってもらった思い出から、自然にそうなったからかもしれません。子供の頃からの地域を愛する教育がやはり大事なのかと思います。

■36歳男性（駒場）

現実、結婚して家に住むま

■24歳男性（伍和）

結婚も憧れますが、給料が上らず携帯や物価も高く、出費が多く将来不安です。勝手なお願いですが出会いの場を多く作って頂き、若い者通し考えを共有しながら、生活していければと考えます。

■36歳女性（浪合）

やはり子育て世代に恩恵ある教育や住宅施策、通勤時間の短さだと思えます。阿智は子供の医療費無料や奨学金返還など充実しているの、しっかり宣伝してもらい、Uターン者を増やす事が近道かと。



阿智村の 定住政策の補助制度

めくもりの田舎暮らし推進事業補助金	阿智村空家情報活用制度要綱に基づいて空き家登録した物件に対する経費が対象。	
	所有者	<p>【対象】 家財道具等の運搬及び処分・屋内の清掃など</p> <p>【補助額】 上限20万 補助率10分の10</p> <p>【条件】 同じ建物について1回のみとする</p>
定住者	<p>【対象】 台所、浴室、トイレ、洗面所等の改修など</p> <p>【補助額】 上限75万 補助率10分の5</p> <p>【条件】 5年未満の間に転居、転出等により居住しなくなったときは年数に応じ支援金を返還するものとする</p>	

定住促進のための住宅新増改築等支援金	【対象】	支援金の交付申請時において本人又は夫婦いづれかが41歳未満の方
【若者定住支援金】	【補助額】	上限額 新築 100(120)万円 増改築 50(70)万円 住宅用地・中古住宅取得 100万円 高齢化率40%以上の集落に新築の場合上限額+30万円
定住促進のための住宅新増改築等支援金	【対象】	支援金の交付申請時において本人又は夫婦いづれかが41歳以上51歳未満の方。なお、集落維持活動支援金交付要綱の対象集落（高齢化率が40%以上の集落）へ定住しようとする者はこの限りではない
【集落定住支援金】	【補助額】	上限額 新築 50(70)万円 増改築 25(45)万円 住宅用地・中古住宅取得 70万円 高齢化率40%以上の集落に新築の場合上限額+30万円

若者に 地域にす

昨年10月に開催された阿智中学校の若駒祭。生徒会の初の試みで「2040年の阿智村を自らの手で作る」と題して全校生徒によるグループ毎にディスカッションが行われました。1年生から3年生までが同じテーマで、同じ場で討論する姿は生徒たちの意識の高さを感じる事ができました。そこで出た意見をいくつか紹介してみます。

又、村では中学生の頃から村内の企業を知ってもらい、体験し勉強するキャリア教育を行い、将来村を担う若者を育てる教育を行っていますので紹介します。



- 村内の観光地や観光資源をPRしていく事で、移住の促進につなげる。
- 自然を大切にし、生かしたものを増やし、良さをアピールする。
- 交通手段と病院の充実
- 老若男女の誰もが暮らしやすいよう新しい店や施設を増やす。
- SNSを用いて豊かな自然を積極的にPRし知名度を上げる
- 観光客から利益を得て、地元の人達が便利な生活環境を。
- 将来の子供達が戻ってくるよう子育て政策の充実や、環境整備、自然保護を並列して行う。
- 昼間に楽しめる施設やイベントをもっと企画する。

- 星空の環境をもっとPRする為、ゴミのない美しい村の環境施策。
- 村内に新たな企業・働く場所の新設。
- 新たな村の特産品、製品を生み出し、関連する産業が発展する。
- 阿智村の魅力の発信を積極的に。
- 若い人達が意見を言うだけでなく、主体的に行動していく。
- 環境維持や自然エネルギーの活用を積極的に行う
- 旅館の質の向上でおもてなしの村にする。
- コンビニを増設し賑やかな村に。
- ゴミ拾いを地域全体で行い、自然豊かな村にする。
- 第一次産業の発展により、自然を保護し、環境を大切にしたい村に。
- 村民が住みやすい村なのかよく考え、適切な政策、発展させていく。



小さな頃から…… 中学生には1年生からキャリア教育

1年生

3年前の製造業の代表者会議で発案があり、阿智の子供たちが地元に残ってくれるためには、小さい頃から村にどんな企業があるか知ってもらう事を地道にやる事が大切と、教育委員会と商工会の主催で、本年度11月に12の企業が参加し仕事の内容を説明するキャリア教育を開催しました。



2年生

村内外の企業や、福祉、保育施設等に1日働く職場体験を行いました。中学生の頃から自分の大まかな希望する進路先に働く事の意義や、厳しさを知り、同時にどんな業種があるのか学びました。

3年生

3年間を通じてふるさと学習を行いながら地域の歴史や資源、行事等の勉強をし、毎年12月に村長と語る会を行い、行政のしくみ、村の課題や振興策について勉強し、村長に中学生の目線で鋭く政策提言。できるものについては予算、事業計画に反映しています。



村長より

貴重なご意見、ありがとうございました。令和6年度の阿智村の事業として取り組んでいきたいと考えています。

ふるさと奨学金返還支援金	【対象】	32歳未満の者で高校・大学等の在学中に奨学金の貸与を受け、自ら奨学金を返還している者
	【補助額】	返還奨学金の2分の1以内の額。年度ごと18万円を限度。総額90万円まで

U1Jターン就業・創業移住支援事業補助金	【対象】	・東京圏、愛知県及び大阪府から移住した者 ・10年間の間上記地区に累計5年間居住し、かつ就業していた者（在学期間を含む） ・県が開設した求職者対象のインターネットサイトから就職した者 他
	【補助額】	単身者 60万円・世帯 100万円 18歳未満を帯同するときは、当該世帯一人につき100万円を加算
	【条件】	・5年以上継続して居住する意思のある者 ・週20時間以上の無期雇用契約に基づき就業していること ・5年以内で退職、又は転出した場合に支援金の返還あり
阿智村 賃貸住宅建設支援金	【対象】	村内に賃貸住宅を建設する個人又は法人
	【補助額】	賃貸住宅の本体工事費の10分の1、又は戸数×30万～50万の合計額とくらべ低い方の額を支援
	【条件】	・1棟4戸以上の賃貸住宅の新築 ・1戸あたり18㎡以上 ・1戸に台所、トイレ、玄関、浴室が含まれていること ・すべての戸において賃貸契約を締結すること

年頭のごあいさつ

謹賀新年「おもてなしの村に

可能性の広がる阿智村へ」



阿智村長

熊谷 秀樹

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、村民の皆様方におかれましては、令和6年の新春を健やかに迎えになったことと思います。

まずはこの度の能登半島の地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。

さて、国内では、新型コロナウイルスが5類となり苦しめられた約3年間からやっと明るい兆しが見えてきました。昨年は4年ぶりに開催したという行事も多く、人が会う事の素晴らしさ、人と人とのふれあいの大切さを実感致しました。しかし、世界の紛争は依然として続き、エネルギーや物価の高騰は、私

達の生活に大きな影響を与えています。阿智村においては、村民の皆さんが安心して暮らせるように、国の地方創生補助金を利用し、事業者の皆様には光熱費等の補助、全家庭には福祉灯油券を配布させて頂き対応させて頂いていますが、本年も状況を見ながら施策を考えて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

少子高齢化の中で、当村では現在生まれてくる子供が激減しています。この事も様々な定住施や子育て政策を打ちながら、村の将来像の中で「阿智家族」を謳っています。喜びも悲しみも村全体でわかちあい、人の事を想い、気遣い、子供達にはどんな形でもいいのでいつかは

村を支える人財になって欲しいというメッセージを、もっと強く皆で発信していかなければと思っています。

子育て政策、定住人口の維持を令和6年もさらに力を入れて参ります。

さて、本年は、昼神温泉郷が出湯51年目であり、昨年多くの皆さんに記念式典、イベントやキャンペーンを通じて改めて昼神温泉があることの素晴らしさを知って頂いたと思います。リニア時代に向けた昼神温泉の将来構想も発表させて頂きました。コンセプトは村民に愛される歩いて楽しい温泉郷です。具体的にはこれからですが、夢のあるまちづくりに向かって進めていきます。

そして、1月からの大河ドラマ「光る君へ」に園原ははき木が登場するのを期待しながら、村民の皆さんや観光客に、改めて阿智村の奥深い歴史を知ってもらい、さらに愛してもらい、村民みんなが観光案内人としておもてなしのできる村として意識をし、さらなる発展を願いたいと思います。

昨年は山本インターから飯田インターまでの国道153号線飯田南バイパスの事業化が決定し、近い将来リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通に合わせ、必ずやこの阿智村は交通の要衝となり発展が期待されます。山本インター周辺を飯田市と一緒に開発計画も進めていこうと考えています。また清内路地区を中心に各地区においてもリニア工事の安全な工事は当然厳守しながら地域振興のため、有効な発生土活用を探っていきます。

このように阿智村は大きな可能性や夢が期待される村として、多くの皆さんのご意見を頂きながら、スケジュール感を持って進めて参りたいと思います。

阿智村には、星空を代表する都会の人達が涙を流して感動する四季の素晴らしい景色があります。こんなステキな阿智村のさらなる発展を願い、今年1年の皆様のご多幸とご健勝を祈念致しまして、年頭のごあいさつと致します。

本年もどうぞよろしくお願致します。

年頭にあたり



阿智村議会議長

吉田哲也

新年あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましては、様々な思いを込め心新たなお正月をお迎えのことと存じます。

令和5年を振り返りますと、ウクライナやハマス・イスラエルの問題など世界の紛争はいよいよ後を絶たず、気候変動はいよいよその姿を見せ始め、極端な暑さ、寒さ、水不足などが発生、先進国ではないずれも少子化、人口減少の問題に悩んでいます。

戦争、紛争、内戦も心くもらせる出来事ですが人類由来の気候変動と、これも人類が選んできてしまった少子化は、この先の社会の行末を間違いなく先細りさせ、デジタル化、DX化で克服しがたい問題を次々起こすだろうと、本当に案じてしまいます。

パンデミックとしての新型コロナ

今のあの時代は、三密を避けなければならず、人との距離をとらざるをえず、交流が激減し、経済が縮小し、学校すら機能できない時期があり、人々のふれあいを奪いました。

この時期に、生み控え、ということが発生します。少子化の世をさらに加速させる出来事です。コロナ禍の中でしたのでこれは仕方のないことですが、令和5年5月、コロナが5類に移行してからの今年度の出生数も、速報値を見ると過去最低を更新する模様です。いわゆる、「コロナがあけて」も、なお史上最低を更新中です。本来に、来年を期待したいところです。

「子どもがいなければ、もっと自由に生きられる」

これは、韓国の女性管理職が結婚した際、夫婦で話し合っ

てきた言葉として伝えられています。

人間の子どもは、たいへん未熟な状態で生まれてきますので、子育てに時間がかかります。その上、高度に文明が発展した社会では社会の構成員になるまでさらに時間がかかります。前者は体力的に、後者は経済的にたいへんなエネルギーやコストがかかります。そこで、「子どもは、リスク」という言葉も聞こえてくるのでしよう。

労働力不足が問題となっている中、女性の社会進出、男女共同参画社会は歓迎すべきことです。それに世間で喧伝されるほど何もない男子は、特に若い世代ではそう多くはないのではないのでしょうか。また生活家電の充実ぶりは、一時代前から見ると大躍進です。でも、未来への不安は、少子化により、着々と濃くなっているように思えてなりません。

熊谷村長の阿智家族の真髄は「定住人口の確保」にあると思います。しかし、ここにきて本当に難しい状況になってきました。東京一極集中という地政的問題から、人類史的問題にシフトしてきた感があるからです。今の阿智村の人口に、あとのどのくらい移住してきてもらったら各自自治会が今の規模を保てるか、の大前提条件が、村

の少子化のものすごい勢いで崩れてしまっています。

大谷翔平は「野球しようぜ」という言葉とともに、日本中の小学校にグローブを贈りました。野球大好きっ子はもちろん、他のスポーツに興じている子も、スポーツに親しみのない子も、野球に興味を向くでしょう。サッカー、バスケットにおされてきた日本の野球人口は、これを機に伸びるのでしょうか。少子化の中では、日本の今の各競技のレベルを維持することはなかなか困難でしょうから、野球に誘導する大谷選手の先見の明はさすがです。

でも、果たして、人口減少時代を受け入れていいのでしょうか。子どもを生み育てるといふ生き物としての営みを、人間はどんな苦難な時も行ってきました。未来の主人公たる子どもたちが減っていくことは、たいへんな危機です。人口減少時代への抵抗はあきらめではならないように思うのです。

次の世代を支える人を、元気を、阿智村でもっと。村だけでできることではないですが、村でできることはなんでもやりたい。それはなんなのか、みなさんと一緒に、議会も考えてまいりたいと思います。

今年もよろしくお願いします。

第26回

熊谷元一写真賞コンクール

テーマ 「まつり・行事」

膨大な農村記録写真を残した阿智村出身の写真家、熊谷元一氏の功績を称え創設された「熊谷元一写真賞コンクール」が第26回を迎えました。今回のテーマは「まつり・行事」です。応募点数742点から26点の入賞・入選作品が決まりました。

〔入賞一覧〕

テーマ部門

元一写真大賞

阿智村賞

信濃毎日新聞社賞

J Aみなみ信州賞

優良賞

入選

阿智村撮影部門

阿智村輝き賞

飯田信用金庫賞（高校生以下）

該当作品なし

掲載写真

・上位6作品

・村内受賞者

2点

10点

10点



▲元一写真大賞「鰐口向かって力の限り」
佐山勝信 福島県会津若松市



▲阿智村賞「野焼き」
萩原 清 長野県飯田市



▲ JA みなみ信州賞「ダンボールマン」
守屋萬次 長野県茅野市



▲信毎賞「貧乏神送り」 石川裕司 長野県松本市



▲優良賞「幼馴染の成人式」
百崎礼治 福岡県福岡市



▲優良賞「高い高い！」
浦上景一 東京都葛飾区

【審査員講評（抜粋）】
 新型コロナウイルスも落ち着きを見せ始め、全国各地からさまざまな祭りや行事、その中で拾ったショットが多数集まりました。
 全体にバラエティーに富みレベルも高かったように思います。ただし、ここ数年の傾向といえますが、カメラ目線の集合記念写真的な作品が目立ちました。そこから一歩外した場面、タイミングなどの新たな視点、カメラワークが肝要です。また、祭りに比べ行事ものが少なく残念でした。元一先生の作品に多く記録されていますが、各家庭や地域で時代を超え、営々と続いている四季折々の今風の行事作品をもっと見たかったです。
 阿智村内撮影部門は、昨年同様バラエティーに富んだ新鮮な作品が多数寄せられました。ここ数年の傾向で、新たな阿智村の光景が続出し審査が楽しみです。毎回繰り返しの苦言となりますが、村内に暮らす人たちの生活、日常の「今」を切り取った作品作りにも挑戦してみてください。
 高校生以下の部は応募がなく残念でした。高校生はじめ小中学生への撮影指導や応募誘導などが必要と思われます。

阿智村輝き賞 村内受賞者



「疲れたなあ〜」
實原保正 阿智村伍和



「あじさい」
中田大慈 阿智村春日



「いつまで続くこの暑さ」
肥後明逸 阿智村伍和

次回 第27回テーマ 「笑顔」

次回のテーマは「笑顔」とします。

新型コロナウイルスが春先5類に移行、夏には感染者がやや増加したものの下火傾向でひと息といったところですが。しかし、長引くロシア・ウクライナ戦争に加え中東のイスラエルとパレスチナの軍事衝突が再燃、近隣では中国や北朝鮮の動向も不安な状況が続いています。さらに、世界各地で相次ぐ地震。日本でも12年前の東日本大震災は記憶に新しく、東海沖地震、南海トラフ地震の発生も想定されています。

身近な暮らしの中では、地球温暖化の影響とされる気候変動や災害、収まる気配のない物価高騰、不登校など取り巻く環境は先行き不透明の暗いニュースばかりの感があります。

しかし、こんな時代だからこそ忘れてはならないのが「笑顔」です。未来を明るく見据え、希望と夢を胸に前に向かってゆく推進力、原動力とされています。

家庭で、地域で、職場で、さまざま現場で「笑顔」を見つけてください。被写体の笑顔はもちろん、作品を見た人が思わず笑顔になるハッピーなショットを狙ってください。

同じテーマ「笑顔」は過去、10回（2007年）から12回まで3年連続で設けられています。それから14年が経過しましたが情勢は刻一刻と変化しております。「今」ならではの笑顔を切り取ってみてください。力作を期待します。

熊谷元一写真童画館 0265-4314422

12月議会定例会

あいさつ



阿智村長
熊谷 秀樹

(はじめに)

今年もあと1ヶ月となり、師走の大変寒く忙しい時期となりました。

この1年間を振り返りますと、5月に新型コロナウイルスの5類への移行により、長い制約された時期が終わり徐々に行事やイベントが復活し、実に4年ぶりという事業が多く村では商工祭が一緒になった阿智祭で、屋台での販売、展示や芸能発表など多くの村民の皆様楽しんでいただき、各地域では文化祭や敬老会など役員の皆さんも日々の開催でしたのでご苦労された事と思いますが、多くの人が出会い、話をする事的重要性を感じることができました。他にも村政功労者表彰式、熊谷元一写真賞コンクール表彰式、村民星空観賞DAY、中学生新人大会の活躍など、皆さんがそれぞれの会場でお会いすると、元気で活躍する姿は大変うれしく感じました。

さて、9月の内閣改造に於いて、

長野県5区、私共の選挙区の宮下一郎衆議院議員が農林水産大臣に就任されました。この事は阿智村にとって、南信州、長野県にとって大変ありがたい事であり、林業や農業を基盤産業とする当村の状況を直にお伝えする事ができました。日本の農林業の発展のため、特に中山間地の実情を受け止めて頂き、本当に心強い就任です。10月早々に議会の皆様と連名で「中山間地域農業への継続的支援について」等の要望書を農林水産省の大臣室へ提出させて頂き、親身になって話を聞いて頂きました。

(村の状況)

村では11月に8か所で地区懇談会を開催し、今年度の事業推進と来年度の事業計画予算を中心に意見を頂きました。近年の少子化時代を反映し、どう人口を維持していくか、定住対策や保育園や小学校のあり方などが意見の中心となりました。

又、どの地区においても共通に出た問題が、地域の集落維持をどうしていくか、農業施策や、山の手入れの事、里山整備など意見ができました。現実に草刈りができない、地区の役が多すぎて受けられないといった、切実な問題が出ています。

村としても、地域と共に解決方法をさぐり一緒になって対応して参りたいと思っています。又、物価高騰対策についても県、市の政策に期待するとの声が多くあり、各団体からの意見もまとめ、計画の素案を持って、2月には再度各地域での懇談会を行う予定になっています。

11月23日

昼神温泉出湯50周年記念式典、

26日 村民感謝DAY

11月23日には昼神温泉出湯50周年記念式典、26日には村民感謝DAYを行い、実行委員会を作り約1年間かけ準備してきた事で、旅館等経営者や商工業者の皆さん、地区住民等の代表の方の意見により、多くの立場から、村民が昼神温泉を誇りに思い、愛し、これからの発展に向けて考える機会となる行事等が

出来たと思います。式典には多くの来賓の方をお招きし、長野県や南信州の中での昼神温泉への期待の言葉を頂き、子供たちによる昼神の将来像の作文は、とても感心させられる内容でした。

リニア時代を見据える将来の昼神構想の発表では、長い期間をかけた方々の意見を聞き策定したものであり、現段階では大きな考え方を示したものとなっています。温泉街を歩き星や川、里山などの自然を感じ、朝市、産直、お土産、飲食店を散策できるような、併せて地元の方皆さんも楽しめる、わくわくするような構想に仕上がりました。今後関係者の合意形成をすすめ、実現に向けて努力していきたいと考えています。

26日の村民感謝DAYでは、初の企画、第54回駅伝大会を昼神で開催し、36チームが参加し昼神の景色を感じながら歩くことができ、多くの皆さんが今まで入浴した事のない温泉に入り、楽しんで頂けたと思います。

清内路手作り花火も圧巻で、これからの100年に向けて未来永劫続く素晴らしい温泉郷へと新たなス

ターゲットが切れました。

リニア関係

リニア整備対策室に、10月1日から対策室長に副村長を兼務で配置し、係長1名増員させ、清内路地区と七久里開発の担当の2名体制で対応しています。

清内路地区では国道から斜坑までの村道1-20号線の工事が始まっています。発生土置き場については坊主沢を候補地から外し、清内路自治会から地区内での活用の要望が9月に出されましたので、村として議会の皆様と協議し、JR東海にその旨を要望致しました。今後、地元を要望を重く受け止め、対応して参ります。今後JR東海主催で、クララ沢発生土置き場の工事説明が地元を中心に行われていく予定です。

又、七久里地区、山本インター近くの洞を発生土で埋めて活用する要望を以前から地元地権者から頂いていましたが、上中関地区、周辺の皆さんのご理解をおおむね頂き、将来の阿智村の地域振興に有効ではないかと村で判断し、工業用地等の可能性を含め検討していく事としました。

今後、様々な角度から調査分析し、安全安心を第一に前向きに検討を進めたいと考えます。

宿泊税の検討

当村では新たな観光の財源となり得る宿泊税について検討する委員会を11月16日に立ち上げました。

まず宿泊税がどんなものか、メリットやデメリットは何か、全国的事例など、勉強し理解する事から始めています。検討に際しては事業者の方の理解や意見をまず聞かなくてはなりませんし、村の将来を考え住民の方の意見も聞く機会も作りたいと考えています。観光のための目的税となりますので、厚神温泉の将来構想の財源としても可能性がある宿泊税となります。委員長には長野県立大学の田村教授が就任され、定期的に委員会を開催する予定です。

11月1日 夢未来キャリアメッセ

今回で3回目となりますが、中学1年生対象に夢未来キャリアメッセを開催。商工会や地元企業の協力のもと、体育館にブースを設け、12の企業団体が、それぞれに仕事の内容や

働くことの意味を説明しました。生徒達は自分の希望するブースを回り、阿智村にどんな企業があるか、大人になった時どんな仕事に就きたいかなど、勉強になったと思います。中学生のうちから地元の企業を学び、将来地域を支える人材になってくれる事を期待するキャリア教育には、今後さらさら力を入れていきたいと考えています。

11月18・19日

県と共催で「ベジチェック」

11月18、19日と県と共催で野菜をどれだけ摂っているかという企



画「ベジチェック」を開催。ピアさんの一角をお借りし、大変好評で102名の方に参加頂きました。野菜の摂取具合など気軽に自分の健康状態を確認する事ができ、生活習慣をどのように送ったらよいかの目安ができました。野菜を摂る事ができる予防ができる冊子やレシピも配布させて頂きました。又知り合いの方と健康について話をする機会もできた事で、来年もお願いしたいとの多くの声を頂きました。

農業関係

昨年からは始まった農業機械購入補助金の申請が今年も好評で、この10月までの半年間で15件と当初予算をオーバーする申し込みがありました。利用された方によると、農業機械もなかなか高額で躊躇していましたが、この補助制度により、機械を導入する事で新しい分野の農業作物を展開する事ができ、意欲も高まっておりがたかったとお礼を頂きました。機械の修繕や残った農薬の処分費も高騰している状況と併せ、今回の補正予算で追加をお願いする予定になっています。

第26回熊谷元一写真賞コンクール表彰式

今年は第26回の熊谷元一写真賞コンクルールの表彰式を熊谷元一写真童画館で開催。テーマは「まつり・行事」で、今年も全国から197人742点の応募がありました。全国規模の大きなコンクールとなり、年々レベルが上がリ、力作が揃い、大賞に福島の佐山さんの作品が選ばれました。元一先生の写真は懐かしくもあり、歴史を振り返るうえで大変参考にもなります。これからの私たちの生き方、日本の進むべき道を考えさせられる記録写真を残していく事の重要性を改めて感じました。

阿智村ふるさと大使の委嘱

この秋に阿智村のふるさと大使の委嘱を新たにさせて頂きました。永倉隆幸さん、園原健弘さんなど9名の方に加え、歌手として活躍され、浪合の歌を歌ってくれている小沢あきこさん、熊谷元一先生のご長男でブックデザイナーの熊谷博人さ

ん、熊谷元一さんの教え子で元日本大学芸術学部講師の下原敏彦さん、元バレーボールプレミアリーグ選手で現在は全国の子供達の指導をされている濱島哲也さん、小説家でシナリオライターの阿智太郎さんの5名です。各分野でご活躍の皆様、ふるさと阿智村の発展のためにお力添えをお願い致しました。

緊急経済対策会議

物価高騰による、景気状況等をお聞きするために11月27日に緊急経済対策会議を開かせて頂きました。

併せて商工会のヒアリングにより、ますと、製造業者の皆さんからは、コロナ禍が終了し海外にシフトしつつあり、国内での仕事も回復し好調で忙しいが、まだ人手が足りず大変困っているようです。小売業、飲食業はプレミアム商品券の効果もあり、3ヶ月前よりは売上げ微増との事。年末は忘年会の予約が大変多く入っており忙しいとのこと聞いています。ただ、依然としてエネルギー高騰により、重油等で機械を動かす製造業や建設業をはじめとした各種事業者

について、厳しい状態が続いているとのこと。観光業は、紅葉のトップシーズンという事もあり、昨年比べ10月までは好調の声を頂きました。しかし、11月以降は昨年の支援の影響が大きく、多少昨年よりは売上減との事です。

農業は、生産量、売上げは横ばいとの報告ですが、原油の高騰により、ガソリン軽油等を使う農機具の燃料代は高く、国の政策発表を受けて当村も対応したいと考えています。又、この秋、県、村、商工会の合同による事業承継調査を行いました。回答された165事業所のうち、後継者がいると答えた方41.7%、いないと答えた方58.3%でした。いないと答えた方のうち、事業承継を希望する方は、27.1%であり、支援策やマッチングやのれん分け等の紹介を希望する方がいました。全国平均は、後継者がいない率は57.2%であり、ほぼ当村も全国平均並みです。3年程前は65%でしたので、コロナの影響で自社事業の将来性に改めて向き合った結果との分析が出ています。

このような状況をふまえ、国の政策方針を受けて、現在の原油等エネルギー高騰対策のため、検討しておりますので詳細については本議会中に提案させて頂きたいと考えています。

(上程議案)

案件は、人事案件1件、条例案件3件、予算案件3件、その他案件5件
▽人事案件 1件

固定資産評価審査委員の内1名が任期満了に伴う選任に関する同意
▽条例案件 3件

「阿智村国民健康保険条例の一部を改正する条例」の制定については、全世代対応型の社会保障制度を構築するため改正する法律の施行に伴う関係条例を整備するもの
他、条例については2件

▽その他案件

阿智村もみじ平森林総合利用施設の指定管理者の指定について 他4件

▽予算案件

令和5年度阿智村一般会計補正予算第3号は、既定の歳入歳出予算総

額に、それぞれ108,861千円を追加し、歳入歳出予算総額、

6,506,284千円

▽歳出の主なもの

ふるさと納税の諸費	7,329千円
デイサービスセンター修繕費	2,110千円
有機活用農業振興費	3,000千円
村道道路維持補修工事	25,000千円
住宅建設費	5,500千円
第一小バリアフリー化工事	10,000千円

このうち有機活用農業振興費については、農業用機械購入の補助金を利用される方が多くその補正と、農業用ハウス等の修繕や農業機械の修繕費用も高額であり、又、残農薬の処分費用も高額な事から、それぞれ一部補助することで、農業者の支援を行う補正をお願いしたいと思っております。以上がご審議いただく案件であります。上程の都度詳しく説明致しますのでよろしくご審議を頂きますようお願い致します。

(おわりに)

8月議会だより臨時号や9月定例会の私のあいさつの中で、白山工業団地の件で相手企業に対し、損害賠償を違約金に変更の旨を述べましたが、言葉の意味の認識不足から訂正させて頂き、解決金とさせて頂きました。

又臨時号の中で覚書と工事の施工について、色々な事情がありました。が事務手続きが不備であり、この事は公が実施する事務としては反省すべき点であり、今後はこの様な事がないようにしていきたいと思っております。契約議決の必要性については、弁護士に相談し、必要ないとの見解を頂いております。擁壁等の造成工事については、誘致にあわせて進めたものであり、工場用地としての整備は問題なかったと考えています。又、交渉時には公にはできない裏の話があるといった私の発言について、全くそのような事実はありませんでしたので、取り消しをし誤解を与えてしまった事についてお詫びいたします。以上を含めて、この件については弁護士にお願いし、交渉中

でありますのでよろしくお願い致します。

さて、9月24日、29、30日には源氏物語、帯木プロジェクトによるイベントが開催されました。来年のNHK大河ドラマ「光る君へ」は紫式部が主人公です。源氏物語に園原が登場する事から、これを機に多くの人に阿智村園原の歴史を知ってもらおうと源氏物語、帯木プロジェクトが立ち上がり企画されました。24日の源氏物語「帯木」演劇の上演では、光源氏と空蝉の切ない物語を書道パフォーマンズも取り入れ、演出の工夫により多くの観客を魅了しました。29、30日にはそのはらの月見祭りとして、信濃比叡やははき木館、中央公民館で書家の実演、講演会などが実演され、どちらも大盛況でした。この企画後には、ははき木を訪れる方が増えており、改めて阿智村の奥深い歴史を感じとって頂いていると思います。

令和5年もあと4週間程です。世界ではロシア、ウクライナ情勢、イスラエルやガザ地区など各地で紛争が起き、平和の尊さが叫ばれ、物価の高騰などで、世界も日本も安定し

ない日々だったような気がします。活気を取り戻そうと当村では、ははき木や昼神温泉50周年のイベントを企画しながら、各地域でも行事が復活し人と人との出会い、ふれあいが大事だと改めて感じ、来年にきっと繋がっていくと思っています。以上本会議に上程いたします議案等について申し上げます。安心で夢のある地域に向かって一緒に進んでいく村作りをまい進してまいりますようご協力をお願いしてまいります。どうぞよろしくおお願い致します。



阿智高だより

vol.80

あけましておめでとうございます。いつも本校の活動に様々な形でご協力いただきまして、心よりお礼申し上げます。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

～ 地域政策コース ～

地域政策コース学習成果発表会を開催します！

1月26日(金) 13:30 から阿智村中央公民館にて、「地域政策コース学習成果発表会」を開催します。地域政策コースの2・3年生が、今年度の学習成果を発表します。地域の皆様のおかげで、今年も充実した活動をする事ができました。皆様のお越しをお待ちしています。



～ 修学旅行 ～

11月29日(水) から12月1日(金) の3日間、広島・兵庫・大阪への修学旅行を実施しました。原爆ドームや資料館を見学し、現地の方のお話を聞くことができました。広島平和記念公園では平和セレモニーが行われ、生徒自らが作った千羽鶴を手に平和への祈りを捧げました。現地へ赴く前にも、学校で「はだしのゲン」の実写版映画を見るなど、平和学習を進めてきましたが、実際に広島を訪れたことで、平和への想いをより強くしました。



～神坂学習塾 体験体感授業～

神坂学習塾では「阿智の星空観察会」を11月から12月にかけて計3回開催し、宇宙に興味のある塾生が参加しました。3回目となる12月14日(木)はあいにくの曇り空となり、予定していた双子座流星群は観察できませんでしたが、雲間から木星や土星、夏の大三角の一等星を観察できました。望遠鏡を使って、自分の目で木星の筋や衛星、土星の環を見ることができて、塾生達からは歓声が上がっていました。

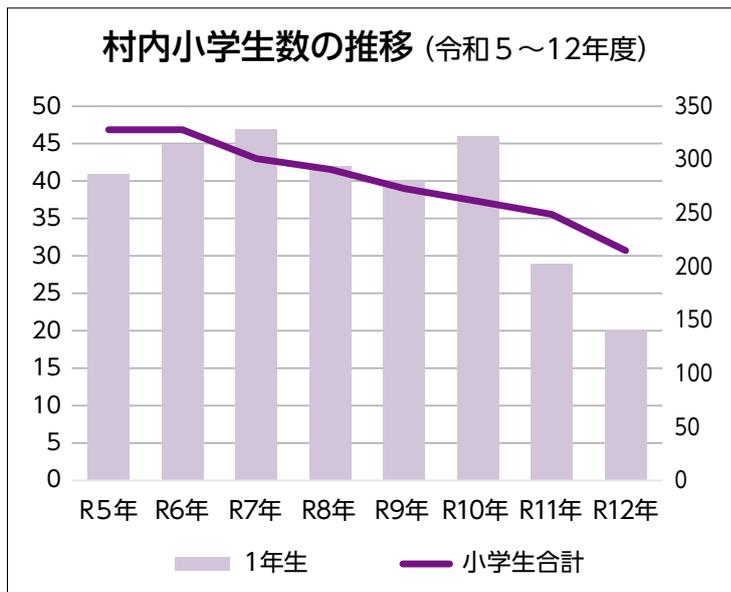


教育委員会の窓

令和6年4月「阿智村学校のあり方検討委員会」を設置します

- 阿智村教育委員会ではこれからの学校のあり方を検討する委員会を立ち上げ
2、3年後に答申していただく検討委員会を設置します —

[1] 7年後（令和12年度）の小学校新入生は全村で20名



阿智村も近隣市当村と同様に少子化の状況が顕著になってきています。左のグラフのように小学校に入学する児童の数は、この先5年間は今年と同程度か若干多く40人台で推移しますが、6年後の令和11年度は29名、7年後には20名の新生となります。村内5校の小学生の総数を見ると、6年後には、今年の約77%、7年後には今年の約65%となってしまいます。

[2] これからの教育ビジョンと学校のあり方について答申します（検討委員会）

3年間続いたコロナ禍がようやく明けて、ICTを活用する個別最適な学びや、英語の学力向上を図る海外（オーストラリア）語学研修も再開します。コロナ禍前に戻るだけではない新しい学びが必要となっています。

これら村内の現状をふまえ、今後10年20年先の阿智村と阿智村の子どもたちにとって、どのような教育、どのような学校が必要かを検討することになります。

検討委員会の設置要綱では、阿智村の小中学校の将来を展望した学校のあり方について、幅広い見地から検討して方向性を見出すために設置し、教育委員会の諮問に応じて調査及び検討を行い、教育委員会に答申するものとしています。

検討委員会の委員には、女性や子育て世代の方の声を聴けるよう配慮します。



検討委員会の構成員	
1	小中学校 PTA 関係者
2	学校運営協議会委員
3	保育園保護者
4	小中学校長
5	自治会
6	経済・産業関係者
7	福祉・医療・教育関係者
8	識見を有する者
9	教育委員会が必要と認める者

[3] 佐久市立白田小学校を視察しました — 検討委員会設置から開校まで約10年 —

11月9日に、小規模校学校課題研究委員会と学校文化協議会の委員の皆さんが合同で、佐久市立白田小学校へ研修視察に行ってきました。白田小学校は、令和5年4月に市内4小学校（青沼小・田口小・桐原小・田口小）が統合してできた新しい学校です。



視察に伺った 村長、教育委員、村議会、教育文化協議会、自治会役員、PTAの皆さん



佐久市立白田小学校 正面玄関



教育設備も充実している 普通教室



腰板に地元産のカラムツを使用した広い廊下

開校までの経緯

平成 25 年

白田地区市政懇談会において、白田地区区長会から「白田地区4小学校の統合が緊急の課題」との意見が出される。

平成 26 年

佐久市白田地区小学校施設整備検討委員会を設置

平成 29 年

佐久市新小学校建設地域協議会を設置

令和 2 年

白田地区新小学校敷地造成工事着工

白田地区新小学校校舎棟建設工事着工

令和 4 年

白田地区4小学校閉校記念式典

令和 5 年 2 月

校舎竣工（総事業費 約59億円）

令和 5 年 4 月

白田小学校開校（開校式）

[4] 村内小中学校校舎建設年（村教育委員会では、老朽化する校舎の改修・修繕に努めています。）

第一小	第二小	第三小	浪合小	清内路小	阿智中
1978年 （昭和53年） 46年	1975年 （昭和50年） 49年	1991年 （平成3年） 33年	1987年 （昭和62年） 37年	1976年 （昭和51年） 48年	2009年 （平成21年） 15年

2024年度阿智村海外語学研修事業

阿智村教育委員会



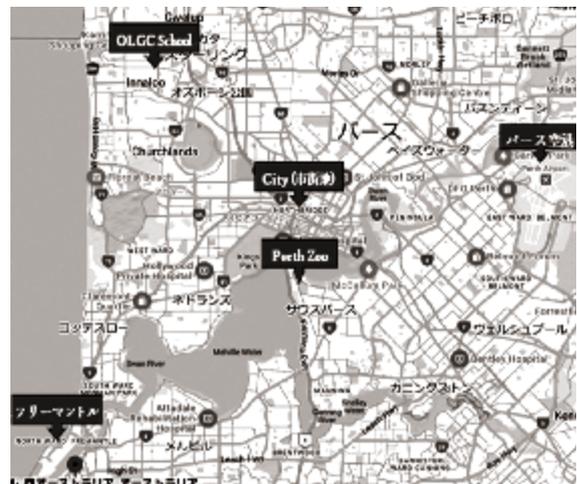
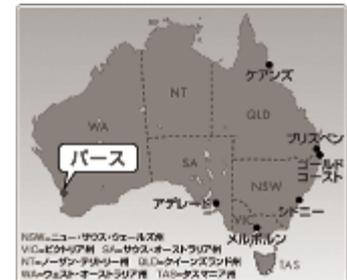
オーストラリア・
パースで新しい世界の
扉を開けよう！

夏休みを利用して
海外語学研修を実施します。異文化体験
をしながら英語の力をアップしませんか？



日程 2024年8月5日(月)～8月9日(金) 5日間

- 1 募集人員 20名程度（最低催行人数10人：10人に満たない場合は中止）
- 2 募集範囲 阿智村の小学校4年生～中学校3年生在籍児童・生徒
および阿智村に住所を有する高校1・2年生生徒
- 3 研修場所 パース（オーストラリア・西オーストラリア州都）
- 4 引率者 阿智村教育委員会 佐々木豊、両角明浩、
女性スタッフ（保健師）計3名
- 5 研修概要 現地校との交流、英語を使った生活、
文化体験（チケット購入・買い物等）、
Perth Zoo 見学・パース市内見学
- 6 研修費 約135,000円（見込み）
- 7 行程
 - 8/5(月) 阿智村 ⇒ セントレア ⇒
チャンギ（シンガポール） ⇒ パース
 - 8/6(火) Perth Zoo 見学 ⇒
パース市内（歴史的建造物等）見学
 - 8/7(水) OLGCスクール交流 ⇒ 市内めぐり
 - 8/8(木) フリーマントル訪問 ⇒ パース空港 ⇒ チャンギ
 - 8/9(金) チャンギ ⇒ セントレア ⇒ 阿智村



主催者および連絡先 詳しく知りたい方、申し込みたいと考えている方は下記にご連絡ください。

阿智村教育委員会 Add. : 長野県下伊那郡阿智村駒場483 Tel : 0265-45-1231 担当 : 佐々木豊、両角明浩
Mail : kyoiku@vill.achi.lg.jp 申し込み期限 2024年1月31日(水) 必着

阿智村子育て支援室 は令和6年4月より

あちっ子プラサ

阿智村こども家庭センター

にかわります



こども家庭センターとは、今まで子育て支援室で担ってきた子ども家庭総合支援拠点や子育て世代包括支援センターにおいて実施している相談支援等の取組に加え、新たに妊娠届から妊産婦さんの支援、子育てや子どもに関する相談を受けて支援をつなぐためのマネジメントや多様な機関との連携をしながら、家庭や家族に関する支援体制の充実・強化を図り、相談支援機能の一体化を目的とするものです。

子育て支援室 (平成31年4月～)

室長

[子育て世代
包括支援センター]

[子ども家庭総合支援拠点
小規模A型]

【母子保健】

〈連携〉

【児童福祉】

令和6年4月開所 (構想)

子ども家庭センター

センター長

統括支援員

【こども家庭係】

保健師
保育士
子育て支援員
公認心理師
教員 (免許保持者)
相談対応員
事務対応員
こども家庭SW
社会福祉士 等

【放課後こども係】

保育士
教員 (免許保持者)
放課後児童支援員
児童厚生員
社会福祉主事
事務対応員 等

具体的な取り組み

- 1 阿智村では教育委員会子育て支援室【児童福祉】と民生課保健センター係【母子保健】で行っていた「連携」からより一歩前をめざします。
- 2 保健師が中心となって行う妊産婦さんから乳児に関する各種相談等 (母子保健機能) を行うとともに、こども家庭支援員等が中心となって行うこども等に関する相談等 (児童福祉機能) を一体的に行うことで相談体制の充実や包括的な支援体制をつくります。



【母子保健業務 (健診・相談・訪問等)】
＜保健師が対応します＞



【放課後子供教室】

地域の方と小学生が交流します



【クリスマスコンサート2023】

季節ごとの行事を親子で楽しみます



【こども広場】

交流と憩い・学習や相談の場

妊婦さんと0歳から18歳までのこどもの健やかな毎日を願い、ご家族が安心して子育てができるワンストップサポートで人と自然と地域の繋がりを大切に育んでいく。そんな阿智村こども家庭センターをめざします。

☎ 子育て支援室 0265 - 45 - 1232

阿智村の自慢

～保育園～

村内6つの保育園の様子を紹介します。
元気な子どもたちをご覧ください。



あふち保育園

メニューは何にしますか？



智里西保育園

初雪で雪玉作ったよ！
今年もいっぱい積もるといいな



伍和保育園

けん玉先生来園！
けん玉名人目指して レッツ チャレンジ！！



浪合保育園

クリスマス会たのしかったよ～



智里東保育園

12月の参観日で忍者パーティーしたよ！
親子でじゃんけん汽車 楽しかったね！



清内路保育園

ちびっこ消防団参上！！
火の用心！マッチ一本火事の元！！

阿智村の自慢

～学校～

阿智村の子どもたちの学校での様子を紹介します。



どれだけ長く回るかを友だちと競いあう全校「独楽まわし大会」がお家の方の前で行われました。大会に向けて子どもたち一人ひとりが、どうしたら長く回る独楽になるかを考え、工夫を重ねながら作ってきました。新記録が出そうになると拍手と歓声が沸き起こり、大変盛り上がった大会となりました。（阿智第一小学校）



11月1日、秋晴れの青空の下、マラソン大会を実施しました。当日は、連学年ごとに時間をずらしてスタート。コース沿道では、たくさんの声援をいただき、精一杯走ることができました。（浪合小学校）



11月30日「やきいも集会」6年生が、前日の薪組みと当日のレクを中心になって進めてくれました。肌寒い天候でしたが、おいしいやきいもで心も体もホカホカになりました。（阿智第二小学校）



読書旬間の取り組みで図書館クイズをしています。図書館にある本のことって、知っているようで知らないもの。クイズを通して図書館への理解を深めました。（清内路小学校）



12月5日(火)から15日(金)にかけて、読書旬間が行われました。朝読書の時間は静寂の時間。先生方や「秋桜の会」のみなさんによる読み聞かせの会では様々な本との出会いがありました。（阿智第三小学校）



12月19日(火)第2回生徒総会が行われました。令和5年度の生徒会もまどめの時を迎えました。本年度の生徒会テーマ『超越 ～進化の先へ～』が象徴される生徒会活動が随所に実施されたように思います。中でも、若駒祭で行った生徒会ディスカッションは、本年度ならではの活動の中で、生徒たちが生き生きと故郷の未来を語り合う姿がありました。生徒総会では新年度の役員が紹介されました。伝統ある阿智中の生徒会を立派に引き継いでいくことを期待しています。（阿智中学校）

温泉権を阿智村に

前村長 岡庭一雄氏

温泉観光県長野県の中で、温泉の無い地域は諏訪湖から下流の伊那谷で、観光地と言えば天竜峡ぐらいであり、新たな観光地づくりは伊那谷の悲願でした。

昼神発電所工事の時には、「温かい水が出ており、温泉を掘つたらいい。」という要請が村に寄せられることがありました。村は、昭和45年7月に県を通じて通産省の地質研究所に調査を依頼しました。調査の結果は、「将来有望ではないか、早い時期に再度調査を。」との結論であったのですが、再調査をしなかつたのです。

昭和47年12月より国鉄飯田中津川線の神坂トンネル工事が始まり、翌年の1月13日の夕方には水抜きボーリング中に20度の温泉水が湧出しました。

村では、湧出の報を受け部落の皆さんや地権者の皆さんと今後の相談を始めました。

湧出の報は各地に飛ぶことになり、すぐ名古屋の業者が掘削権を取るため土地の所有者にお金を届けようとなりましたが、部落の皆さんの総意で村に権利を任せることを決め、村には皆が利用できる温泉施設づくりを要請しました。

「先祖から与えられた温泉権を、自分たちの利益にしないで、皆のために使ってもらおう。」という昼神部落の皆さんの気持が、今日の昼神温泉の元を作ってくれたのです。

「美しく輝く未来へ」

第39回



－ 若者の声 －

阿智村長 熊谷秀樹

令和6年のスタートは石川県での大震災や飛行機の事故という悲しいスタートでした。年の始めのやるせない気持ちの中で、一日も早い復興と被災され亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたします。

さて、新年号の特集は急激な人口減少の中で、若者に魅力ある地域にするには、中学生や若者のホンネをそのまま掲載させて頂きました。ある論説によると、コロナの影響で人と出会う機会が薄れ、スマホで情報が溢れ、景気低迷で将来への不

安により、家庭を持つ意識が薄れているとの事。しかし、今回の若者の取材や中学生の意見の中で、昔は「遊ぶところが欲しい」「デパートが欲しい」から本当に現実的に、経験してきた大人のような回答が増えました。特に中学生は自然をもっと生かすべきだなど、しっかり将来を考えているという感想を受けました。このような若者が将来の日本を支えていくのはある意味頼もしくもあり、切実な彼らの叫びを聞くだけでなく形にしていかなければと改めて感じました。

発行：阿智村役場 (〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483番地)
 編集：協働活動推進課広報係 TEL 0265-43-2220 (代表) FAX 0265-43-3940
 E-mail: koho@vill.achi.lg.jp ホームページ <https://www.vill.achi.lg.jp> → QR
 印刷・製本 龍共印刷株式会社



私たちの村 (1/1現在)
 人口……5,989人
 男……2,934人
 女……3,055人
 世帯……2,351戸